

平成27年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成27年3月6日

上場会社名 株式会社gumi 上場取引所 東
 コード番号 3903 URL <http://gu3.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 國光 宏尚
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 (氏名) 川本 寛之 (TEL) 03(5358)5322
 四半期報告書提出予定日 平成27年3月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年4月期第3四半期の連結業績(平成26年5月1日~平成27年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年4月期第3四半期	20,621	—	420	—	292	—	△225	—
26年4月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 27年4月期第3四半期 △198百万円(—%) 26年4月期第3四半期 —百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年4月期第3四半期	△9.02	—
26年4月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 当社は、平成26年4月期第3四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成26年4月期第3四半期の数値及び平成27年4月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
2. 当社は、平成26年8月1日付で普通株式1株につき500株の株式分割を行っておりますが、当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年4月期第3四半期	23,619	16,343	68.8
26年4月期	5,531	3,497	61.5

(参考) 自己資本 27年4月期第3四半期 16,252百万円 26年4月期 3,404百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年4月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年4月期	—	0.00	—	—	—
27年4月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年4月期の連結業績予想(平成26年5月1日~平成27年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,500	237.0	△400	—	△600	—	0	—	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年4月期3Q	29,014,500株	26年4月期	18,675,500株
② 期末自己株式数	27年4月期3Q	—株	26年4月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年4月期3Q	24,985,952株	26年4月期3Q	—株

- (注) 1. 当社は、平成26年4月期第3四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成26年4月期第3四半期における期中平均株式数（四半期累計）を記載しておりません。
2. 当社は、平成26年8月1日を効力発生日として、普通株式1株につき500株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

gumiグループ（以下「当社」）の当第3四半期連結累計期間の売上高は20,621,645千円、営業利益は420,347千円、経常利益は292,642千円、四半期純損失は225,291千円となりました。

当第3四半期連結累計期間に関する主な要因は次のとおりです。

当社は、平成26年4月期第3四半期連結累計期間においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成26年4月期第3四半期の数値及び平成27年4月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

①売上高

売上高は20,621,645千円となりました。これは主に、当社子会社の株式会社エイリムがリリースしましたスマートフォン向けネイティブアプリ「ブレイブ フロンティア」が好調に推移したことによるものです。

なお「ブレイブ フロンティア」は2015年1月15日に全世界ダウンロード数合計2,000万件を達成し、MAU（Monthly Active User：月間アクティブユーザー数）も引き続き好調な水準を維持しています。

②営業利益

営業利益は420,347千円となりました。当社では開発ゲームタイトル数の拡充のために国内外での開発投資を積極化していること、及びゲーム配信のプラットフォームへの支払手数料が売上高に比例して増加するため、売上原価が増加しています。加えて、主に「ブレイブ フロンティア」に係る広告費が増加したことで、販売費及び一般管理費が増加しています。

③経常利益

経常利益は292,642千円となりました。これは主に、営業外費用として、為替変動に伴う為替差損63,720千円を計上したこと、及び東京証券取引所上場に伴う新規株式発行等により、株式交付費56,963千円を計上したことによるものです。

④四半期純損失

主に法人税、住民税及び事業税を511,067千円計上したこと等により、四半期純損失は225,291千円となりました。

なお、当社はモバイルオンラインゲーム事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は23,619,332千円となり、前連結会計年度末比18,087,661千円増加いたしました。主な内訳は、現金及び預金が16,440,372千円増加したことによるものであります。

負債は7,275,826千円となり、前連結会計年度末比5,241,636千円増加いたしました。主な内訳は、買掛金が236,294千円、短期借入金が1,700,000千円（1年内含む）、未払法人税等が432,762千円、長期借入金が2,000,000千円増加したことによるものであります。

純資産は16,343,506千円となり、前連結会計年度末比12,846,024千円増加いたしました。なお、自己資本比率は68.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成27年3月5日に「通期連結業績予想の修正及び役員報酬の減額に関するお知らせ」を以下のとおり公表しました。

1. 当期の連結業績予想数値の修正（平成26年5月1日～平成27年4月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 30,972	百万円 1,329	百万円 1,277	百万円 808	円 銭 31.30
今回修正予想（B）	26,500	△400	△600	0	0.0
増減額（B-A）	△4,472	△1,729	△1,877	△808	△31.30
増減率（％）	△14.4%	—	—	△100.0%	△100.0%
（参考）前期実績 （平成26年4月期）	11,192	△102	△168	△184	△10.83

2. 連結業績予想修正の理由

当社の平成27年4月期の連結業績予想につきまして修正を行う理由は以下のとおりです。

① 「ブレイブ フロンティア」の海外言語版の売上計画修正

a: 当第3四半期で計画が未達となったこと

→ MAU（月次アクティブユーザー数）の若干の弱含みに加え、日本語版にて投入した新規施策の反映までにタイムラグが生じたことに伴い、課金率、ARPPU（課金ユーザー一人あたりの平均月間課金額）共に当第2四半期比で低下したものと

b: 当第4四半期の売上計画を引き下げたこと

→ 当第4四半期にて日本語版で奏功した施策の導入による課金率、ARPPUの上昇を予定するも、足元のMAUの若干の弱含みを考慮し、売上計画は保守的な水準を採用

② パブリッシングサービスの立ち上がりの遅延による売上計画修正

a: 当第3四半期で計画が未達となったこと

→ 複数タイトルのリリースは予定通り行い、一定のユーザー基盤を確保したものの、各タイトルにおける各国市場の嗜好に適した新規コンテンツ・新システムの投入の遅れにより、売上計画未達となったものと

b: 当第4四半期の売上計画を引き下げたこと

→ 当該タイトルへの新規コンテンツ・新システムの投入は鋭意進めていくものの、実装までに必要な期間を考慮し、売上計画は保守的な水準を採用

③ 一部海外向け新規タイトルの売上計画修正

a: 当第3四半期で計画が未達となったこと

→ 一部タイトルが計画を大幅に下回る水準にて推移し、売上計画未達となったものと

b: 当第4四半期の売上計画を引き下げたこと

→ 当該タイトルの売上計画の引き下げを行ったもの

上記要因による売上高の落ち込みが想定を上回り、海外展開を積極的に進めていたために上昇した固定費が利益を圧迫し、営業損失を計上する見込みです。

当期純利益については、繰延税金資産の計上が見込めるため、法人税等調整額が当期純利益に対しプラスに寄与することを織り込み、0円となる見込みです。

3. 今後の取り組みについて

今後につきましては、以下施策を着実に実行し、業績の回復と拡大に向けて全力を尽くしてまいります。

① 売上高の拡大

1 既存タイトル（ネイティブアプリ）

- a:ブレイブ フロンティア（日本語版）：新規施策の積極投入及び年間スケジュールに基づく安定的な運用
ブレイブ フロンティア（海外言語版）：日本語版で奏功した施策の適時投入及び効果検証を踏まえた適切な広告投下によるユーザー基盤の増大
- b:ファントム オブ キル：当第4四半期のTVCM放映での大規模なユーザー獲得による売上拡大
- c:ドラゴンジェネシス：少人数運営による高収益モデルの継続
- d:ソードアート・オンライン コード・レジスタ：新規施策の積極投入による売上拡大（同タイトル販売/配信元はバンダイナムコゲームスであり、当社が開発を担当）
- e:パブリッシングサービス：新規コンテンツ・新システムの投入により収益化を加速

2 新規タイトル（ネイティブアプリ）

- a:新規タイトル18本の開発早期化（他社IPタイトル、リアルグラフ向け、パブリッシングサービスを含む）

② 海外展開の立ち上げの加速と更なる強化

- a:海外9拠点の子会社の経営資源を活用し、クロスボーダーの強固なコンテンツ配信網を構築
- b:立ち上がりが遅延しているパブリッシングサービスについてはIPホルダーとの連携強化による各国市場に合わせたコンテンツ追加の早期化に取り組み、収益化を加速。また当社のリリースするオリジナルタイトルについても積極的に展開
- c:海外子会社におけるオリジナルタイトルの開発強化

③ コストの合理化

- a:開発費は、国内・海外の開発ライン増強に関する投資は一巡しており、今後は緩やかな増加傾向に転じる見通し
- b:広告宣伝費は、タイトル毎の広告効果の検証を一層強化するとともに、自社タイトル間のクロスプロモーション等を積極的に実施することで、売上高広告宣伝費比率で15%を目指す

④ タイトルポートフォリオの構築

- a:パブリッシングの立ち上げの早期化を推進しつつ、オリジナル、IP、リアルグラフ向け及びパブリッシングタイトル（ハイリスク・ハイリターン～ローリスク・ローリターン）をバランスよく提供することで、安定的な売上拡大及び強固な収益基盤の構築を図る

4. 役員報酬の減額について

このたびの平成27年4月期連結業績予想の下方修正という結果を真摯に受け止め、その経営責任を明確にするため、以下のとおり役員報酬の減額を実施します。

①役員報酬減額の内容

代表取締役社長 役員報酬月額100%を減額

②対象期間

平成27年3月から8月までの6ヶ月間

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第3四半期連結累計期間においてgumi Canada, Inc.、gumi Sweden AB及びgumi Germany GmbHを新規設立し、また、台湾谷米數位科技有限公司及びgumi America, Inc.は重要性が増したことにより、連結範囲に含めております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,477,915	18,918,287
売掛金	2,023,797	2,322,141
その他	72,943	258,971
流動資産合計	4,574,657	21,499,400
固定資産		
有形固定資産	185,150	344,947
無形固定資産		
のれん	302,158	250,477
その他	23,792	551,526
無形固定資産合計	325,951	802,003
投資その他の資産	445,911	972,980
固定資産合計	957,013	2,119,931
資産合計	5,531,670	23,619,332

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年 4 月 30 日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成27年 1 月 31 日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	448,927	685,222
短期借入金	800,000	1,500,000
1年内返済予定の長期借入金	-	1,000,000
未払法人税等	77,556	510,318
その他	640,748	1,466,825
流動負債合計	1,967,232	5,162,367
固定負債		
長期借入金	-	2,000,000
資産除去債務	52,159	89,747
繰延税金負債	14,797	23,711
固定負債合計	66,956	2,113,458
負債合計	2,034,189	7,275,826
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,316,456	8,840,544
資本剰余金	2,306,456	8,830,544
利益剰余金	△1,297,901	△1,522,953
株主資本合計	3,325,011	16,148,135
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,755	6,818
為替換算調整勘定	75,759	98,001
その他の包括利益累計額合計	79,514	104,820
少数株主持分	92,954	90,549
純資産合計	3,497,481	16,343,506
負債純資産合計	5,531,670	23,619,332

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成27年1月31日)
売上高	20,621,645
売上原価	13,327,911
売上総利益	7,293,733
販売費及び一般管理費	6,873,386
営業利益	420,347
営業外収益	
受取利息及び配当金	803
経営指導料	7,200
消費税等免除益	7,806
補助金収入	15,187
その他	5,799
営業外収益合計	36,796
営業外費用	
支払利息	17,089
為替差損	63,720
株式交付費	56,963
持分法による投資損失	22,668
その他	4,059
営業外費用合計	164,501
経常利益	292,642
税金等調整前四半期純利益	292,642
法人税、住民税及び事業税	511,067
法人税等調整額	4,254
法人税等合計	515,321
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△222,678
少数株主利益	2,612
四半期純損失(△)	△225,291

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成27年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△222,678
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	3,062
為替換算調整勘定	21,233
その他の包括利益合計	24,296
四半期包括利益	△198,382
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△199,986
少数株主に係る四半期包括利益	1,604

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、平成26年6月6日付で3,446,546千円、平成26年7月4日付で1,553,920千円、平成26年9月24日付で3,330,090千円第三者割当増資の払込を受けました。平成26年12月18日付で東京証券取引所の市場第一部に上場し、公募増資を行い平成26年12月17日に4,702,500千円の払込みを受けました。平成26年12月25日付で11,620千円、平成26年12月26日付で3,500千円新株予約権の行使が行われました。

この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が6,524,088千円、資本準備金が6,524,088千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が8,840,544千円、資本剰余金が8,830,544千円となっております。